

～ばい菌が見えた! 正しい手洗いの方法～

愛育会の方々とのふれあいの中で

★ 「正しい手の洗い方・手洗い指導」

対象児：5歳児クラス 29名

都留市 愛育会（吉田さん他7名）

1. 目的と経緯

- ・地域の愛育会活動を行っている方々とのふれあいの中で、日頃の手洗いを振り返り正しい手洗いの方法を知る。
- ・コロナ禍を経て手洗いは生活の一部となってきたが、楽しく学ぶことで習慣として身につけていくきっかけとしたい。
- ・保育者以外の人との関わりの経験の良い機会になると良い。



2. 内容

- ・具体的な洗い方を子どもにわかりやすい言葉や絵にして教えてくれた。手全体をしっかりと洗うための洗い方は6ポーズ。

1.お願いのポーズ 2.カメのポーズ 3. 山のポーズ

4.おおかみのポーズ 5. バイクのポーズ 6. つかまえたのポーズ

- ・洗い方を知った後に手洗いを行う。愛育会の方々が子どもたちの傍に寄り添いながら指導をしてくれた。

その後、手に専用ローションをぬりブラックライトに手をかざすと手に残っている汚れが白く浮き出し“洗い残し（ばい菌）”が目で見えた。

手に浮き出た汚れが落ちるように再度丁寧に洗いを行った。



3. 成果と課題

- ・コロナ禍を経験した子どもたちは、それ以前の子どもたちよりも手洗いが丁寧である子が増えた。しかし1日に何度も手洗いをする場面があり、疎かになりやすい。今回、ブラックライトで手の汚れが見える化されたことで自分の手洗いの仕方を振り返る良い機会となった。



- ・手洗いは、そのこと自体が目的になることが少なく「〇〇したから手を洗う」「〇〇するから手を洗う」などその意識は薄いと感じる。自分の健康を守る手段としての手洗いを良き生活習慣、衛生習慣として身につけていけるような関わりや声掛けを続ける必要性があると感じた。